

報告第2号 平成30年度事業計画及び収支予算について

平成30年度事業計画

1 基本方針

国が、平成29年3月28日に、働き方改革実現会議で定めた「働き方改革実行計画」によると、『高齢者の就業促進のポイントは、年齢に関わりなく公正な職務能力評価により働き続けられる「エイジレス社会」の実現であり、これが、若者のやる気、そして企業全体の活力の増進にもつながる。高齢者の7割近くが、65歳を超えても働きたいと願っているが、実際に働いている人は2割にとどまっている。労働力人口が減少している中で我が国の成長力を確保していくためにも、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会を提供していく必要がある。・・・(中略)・・・また、健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する。』となっており、シルバー人材センターの役割が益々大きくクローズアップされております。

一方、我が国の景気は穏やかな回復が続くなか、人手不足を背景に雇用環境は安定した状況が続いております。また、敦賀市の状況は敦賀商工会議所の「第45回敦賀市内景気動向調査」によると、総合景況観（BSI）は▲0.8と調査開始以来最も良い数値となっております。また、雇用の状況は、約7割弱の企業が不足傾向にあることが窺えました。

このような情勢のもと、平成30年度は、第4次経営戦略3年度目として、高齢者の生きがいの充実、地域における就業機会の確保に努めるため、次の事項について積極的に事業を展開していきます。

- ① 就業開拓員による派遣事業を充実し、「高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を推進する。
- ② たんぽぽ事業や介護予防・日常生活支援総合事業へ引き続き参画し、福祉事業を推進する。
- ③ 地域に根差したシルバー人材センターとして、惣菜店「おかずの達人ろくべえ」を充実する。
- ④ 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会（障害者スポーツ大会）の成功に向け、ボランティア活動等に積極的に取り組む。
- ⑤ 会員同士の交流・親睦や趣味を通じての「仲間づくり」を図るために、地域班や職群班等を活用した交流事業を推進する。
- ⑥ 現在の事務所は、「敦賀市の公共施設等管理計画」で維持修繕費の拡大や耐震等により、市との「市有財産貸付契約」が満了となる平成32年3月31日までに移転先を詮索することが求められている。今年度中に市との協議を進め決定する。

2 重点施策

(1) 積極的な事業展開

平成29年度は第4次中期経営戦略基本計画2年度目であり、役職員一丸となり平成28年度から継続して「6プロジェクト」と新たに「公共施設就業体制等検討プロジェクト」に取り組むと共に、昨年度実施した大規模な「顧客満足度調査」の結果から、今後の政策の一定の方向性を協議する。

まず、昨年度実施した「顧客満足度調査」から、作業会員や事務所での対応はもちろん、仕事の出来栄え、安全面、アドバイス等のアフターフォローにおいて、個人よりも事業所や行政の数値が低いという結果となっている。特に事業所からの見る目は厳しくなっており、接客接遇の向上、良質な仕事の提供をこれまで以上に求められていることがわかった。料金については、最低賃金や消費税増税の関係から作業単価の値上げを行ってきたが、5割程度が「ふつう」と答えており理解を得られている。今年度は、各職群班に調査結果を提示し善後策を講ずることとする。

事業実績については、平成30年2月末で前年度同期より入会者は増加して明るい兆しは見えるものの、深刻な会員不足は変わりなく請負・委任契約の増加が見えず、事務費収入は不透明な状況である。

また、特筆すべきことは、これまでシルバー事業の中核をなしてきた剪定や機械草刈り・除草などは、就業会員の高齢化と就業希望新入会員の減少で年々契約額が減少していましたが、会員皆さんの頑張りと効率的な仕事の配分等により減少に歯止めがかかり昨年より微増の数字をあげております。このような状況を見据え同業務の会員増を目指し、市民と会員を対象としたシルバー会員による「剪定」「草刈り」講習会（昨年度の参加者は各々60名と40名）を引き続き実施すると共に新たに「襖・障子張り替え講習会」を実施する。

将来の安定した運営を達成するためには、積極的な新規事業への参入や今年度堅調な伸びを示している派遣事業やたんぼぼ事業等の更なる推進を計る必要がある。

また、「職群班」と「地域班」が連携し、お断り事例の省力化に積極的に取り組みます。

今後も平成28年度に策定した第4次中期経営戦略基本計画を推進し、プロジェクトによる目標達成に向けた積極的な取り組みを行い、会員の就業機会確保・契約増を目指します。

(2) 社会情勢への迅速な対応

平成28年度から始めた第4次中期経営戦略基本計画が2年経過し、各プロジェクトで事業の方向性、必要性を検討した結果を踏まえ、実施手法についても創意工夫を凝らし、計画推進を確実なものとしします。特に、「女性会員の活動の機会を増やすため9月に創業した惣菜店（おかずの達人ろくべえ）」・「ICT事業推進のためのタブレット研修を継続するとともに、すでに導入している理事会や地域班の会議以外にもタブレットを導入し、さらなる資源の省力化や情報の一元化を図ります。さらに会員各位にはセンターからの様々な情報を確認できるサービス「Smile to Smile」事業の拡充」に努めます。全ての事業において、社会情勢等を見据えた対応を検討し安定的な運営を目指します。

3 実施計画

(1) 安全就業の推進

- ① 安全講習会において会員の興味ある内容を付加した講習を行い、会員の積極的な参加を促すとともに市民の参加も促す。

平成29年度 草刈り作業実技講習 市民 60名参加

剪定作業実技講習 //

40名参加

交通安全講習会・接遇研修会の充実（専門家による）

- ② 事故ゼロを目指して、常に安全就業基準の順守徹底や、違反者に対して原因の追究、事故防止の認識の醸成を図る。
- ③ 労働者派遣事業や受託事業のコンプライアンスの徹底に努め、適正就業ガイドラインに基づく適正就業機会の徹底、周知、研修を行う。

(2) 会員の増強

- ① **新**派遣事業に係る会員の事前登録制を採用する等、会員登録等のシステムを導入する。
- ② 待機当番制を確立し、地域班と地元との繋がりにより、地域のニーズを掘り起こし、地域のニーズに応えることにより、社会貢献の拡大を達成する。
- ③ センターや各班の実施する能力の向上講習会や研修会に市民の参加を促し、シルバーのイメージアップを図る。
 - ・調理補助講習・ハウスクリーニング講習・介護看護補助講習・草刈り、剪定講習会を引続き実施する
 - ・**新**襖・障子の張り替え講習会を一般市民向けに実施し、入会促進・後継者育成に繋げる

- ④ 不足分野における会員拡大（女性会員）の社会進出促進への迅速な対応を図る。
- ・**継**惣菜店への会員の入会促進（調理員）
 - ・**拡**現役世代（育児等）への支援（たんぽぽ事業の拡充）
- ⑤ 市の広報誌やホームページ等の従前の広報媒体以外の媒体による広報を実施することによりセンターの更なるイメージアップを図る。
- ・**新**フェイスブックなどSNSを活用し、市民のシルバーへの興味を喚起
- ⑥ 会員の仲間の誘い合い「受けてから担い手」への意識転換として「1会員1人入会運動」を図る。
- ⑦ **拡**敦賀市国体運営サポーターとして参画する。
- ⑧ **新**認知症予防研修の実施。
- ⑨ **新**会員同士の交流・親睦や趣味を通じての「仲間づくり」を図るために、地域班や職群班等を活用した交流事業を推進する。
- ⑩ **新**ふくい元気・シルバーフェスタ2018イン敦賀の開催。
平成30年9月8日（土）プラザ万象

（３） 財源の確保

- ① 関係機関との連携を強化する。
高齢者が空いた時間や得意な能力を活かし就業参加できる「就業モデル」を、行政・民間の施策等を通じて、或いは、区長連合会といった行政委員会等と情報交換を実施しながら確立し受注拡大を図る。
- ② **新**派遣事業要件緩和（週30時間まで就業）への対応する。
・専任理事（2名）等による就業開拓の拡充
- ③ 新事業へ挑戦（各プロジェクトの更なる活動）する。
- ・**拡**惣菜店「おかずの達人ろくべえ」の充実
 - ・**検討**介護予防・日常生活支援総合事業への参入
 - ・平成29年7月から「基準緩和サービスA型」の事業所として参画
 - ・**拡**空き家管理等サービス事業（空き家（空き地）、墓地等管理サービス）の対象者への啓発
 - ・**新**市の戸別ごみ収集業務への参画検討
- ④ 就業開拓戦略会議を継続する。
行政や関係機関及び民間企業の新規募集に対して意見交換等を通じて積極的に把握する。また、発注者に対しきめ細かなフォローを実施し、派遣事業等の更なる拡大を図る。

- ⑤ 地域班・職群班調整会議を継続する。
 - ・地域班・職群班等の範疇を越えた横断的な取組みを推進し、お断り事例の省力化に対応できる体制を整備
- ⑥ 地域班主導による対応を推進する。
 - ・地域班と地元の繋がり の 確立
 - ・**新**ワンコインサービスの促進による待機当番制の確立
 - ・ワンコインサービスの要綱作成等
- ⑦ **新**顧客満足度調査を反映した方向性を決定する。
 - ・ミスマッチの減少、お断り事例の縮減
- ⑧ 隣接シルバーとの連携を検討する。
 - ・**新**近隣センター間で、近隣地区の受注可能な仕事に関する情報の把握と紹介方法の確立など連携策を検討
 - ・美浜町シルバー人材センターとの業務検討会等の実施
- ⑨ **新**正会員および特別会員の年会費の傾斜的な減額について検討する。

(4) 運営基盤の整備

- ① 理事・監事の機能を強化する。
 - ・会議が形骸化しないよう会議の効果及び活性化の観点から、直近に発生している事象や問題点等をテーマにする等、議事進行において全員参加型の議論を展開
 - ・理事会の活性化と、多様な意見を幅広く収集する観点から、学識経験者や専門的知識を有するシルバー事業に熱意を持った人材を理事・顧問登用を検討
 - ・**新**他シルバーとの意見交換会の実施
 - ・平成29年度は鯖江市役員との意見交換を実施
 - ・**拡**役員・代表者が率先してIT化に取り組むステップとしてタブレットの使用による理事会・地域班代表者会議等の運営、さらに、職群班との会議等に活用を検討
- ② 事務局の活性化を図ります。
 - ・役員及び管理職は、組織目標を踏まえた管理計画を策定し、職員連絡会議などの機会を通じ、目標の達成とマネジメント体質の強化を図る等、組織をコーディネートする能力の向上
 - ・職員の組織運営への関わりを深めることで経営参画意識を醸成する
 - ・研修機関と交流研修や事例研究を行い、職員の知識や経験、分析力、洞察力、創造力の向上

- ・平成２９年度は民間の研修機関「㈱インソース」「SMBC コンサル」による報告書、議事録の調製研修・財務基礎研修・ゼロから学ぶ簿記会計入門に参加

③ **新**事務所移転先の詮索と決定。

- ・市の既存施設へ移転（指定管理の取得）等

（５）情報の共有化と事務改善

① 情報共有化と迅速な情報伝達（ＩＣＴ）に取り組めます。

- ・情報収集、センター情報の的確な伝達

② 会員のインターネット活用サービスの普及に努める。

- ・**継**平成２９年度は、配分金明細やセンターのお知らせ等のインターネット活用サービス「Smile to Smile」を実施、さらに会員の皆さんの利便性向上

③ 受注の対応にリーダー会員によるタブレットの活用を引続き研究。

④ **新**会員のインターネットによる入会申込みシステムを構築する。

- ・業務システムエイジレス８０との連携システム「らくらくWEB入会チャンネル」を導入し、入会の利便性を向上

⑤ 事務の一層の効率化を実現するため、最適な技術や運用方法、信頼性の高いセキュリティ対策を構築し、会員等が安心して信頼できる運営の努力。

４ 目標数値（第４次中期計画中平成３０年度の目標値）

会員数：４２５人

契約額：２１７，０００，０００円（派遣契約含む）

派遣就業延人員：３，５００人日